

## みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/08/01 Vol. 7 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362  
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

### 印西市議会/平成 15 年第 2 回定例会報告 ( 4 )

いつもお世話になっております。印西市議会第 2 回定例会は、6 月 25 日で閉会しました。  
今回も 6 月定例会での「議案審議とその結果」を中心にご報告していきたいと思ひます。

#### 議案審議とその結果 ( 2 )

##### 請願第 15 - 5 号

##### 乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書採択のお願いについて

(採決結果/否決)。。私は「賛成」しました。

(請願者) 新日本婦人の会 千葉県本部

(紹介議員) 山田喜代子(日本共産党) 伊藤和江(日本共産党)

(請願趣旨/要旨) 今日、全ての自治体で乳幼児の医療費助成制度が行われるようになりまし。しかし、就学前まで完全無料の県がある一方で、ゼロ歳のみ県があるなど、自治体によって対象年齢や条件には大きな格差があります。子どもの命は全て平等です。どこに生まれ住んでいても子どもは大切に育てなければなりません。

今、一人の女性が生涯に有む、子どもの数は平均 1.33 人で戦後最低になっています。少子化の背景の一つには「子育てにお金がかかる」ことがあります。若い世代は収入が低く、長引く不況と不安定な雇用のもとで医療費は大きな負担です。乳幼児医療費への助成は、子育てへの経済的、心理的支援として重要な施策の一つとなっています。

参議院本会議では 2001 年 6 月、「少子化対策推進に関する決議」を全会一致で採択し、政府に対して「乳幼児医療費の国庫助成」等を「重点的に取り組むべきである」と求めました。議員立法での実現を求める運動をすすめるなかで、賛同する国会議員は 100 人を超えるなど、制度創設を望む声は高まってきています。安心して子どもを生育できることのできる社会への第一歩とするため、1 日も早い国の乳幼児医療費無料制度の創設が求められます。つきましては、貴自治体で乳幼児医療費国庫負担制度の創設を求める国への意見書を採択していただけますようお願い申し上げます。

(請願項目)

1. 国にむけて、乳幼児医療費無料制度創設の意見書をあげてください。

(ぐんじとしのりより/解説)

この請願に関しては、審査を行った文教福祉常任委員会で「標題と請願項目が異なる」といった理由で不採択となり(まちづくり研究会 増田議員は採択を主張) 本会議の際にも殆ど審議されることなく、「不採択」となりました。市民の声は届かないのでしょうか?

##### 発議案第 5 号

##### 「税源委譲を基本とする三位一体改革の早期実現」を求める意見書の提出について

(採決結果/可決)。。全員 一致

(ぐんじとしのりより/解説)

現在、政府においては、昨年 6 月 25 日に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002」(骨太第 2 弾)に基づき、国庫補助負担金、地方交付税、税源委譲等を含む税源配分のありかたを三位一体で見直し、6 月末までに経済財政諮問会議で改革工程表をとりまとめることとされています。

しかしながら、地方分権改革推進会議が、去る 5 月 14 日提示された試案の内容は、「三位

一体改革に伴う税源委譲を先送り、国から地方への支出を大幅に抑制、また、地方財政計画の策定を通じた地方交付税の税源保障機能を実質廃止、地方議会に係る経費など地方公団体が成立するために最低限必要な経費まで国が補償すべきか疑問」としているなど、「分権時代に即した地方税財政の充実強化に関する意見」が全く反映されておらず、地方分権改革の名のもとに国から単なる地方への財政負担の転嫁を図るものと言わざるを得ません。この点を指摘し、今回の定例議会で以下の3項目を意見書として、関係機関に提出したものです。

基幹税を基本とする税源委譲等の早期実現  
地方交付税を通じた財源保障機能および財政調整機能は不可欠  
国庫補助負担金の廃止・縮減に伴う地方への税源委譲

## 平成 15 年印西市議会第 2 回臨時議会が開催されました。

7月7日(月曜日)に開催され、工事請負契約の締結(大森小学校管理教室棟改築)、水道事業会計補正予算の2議案が審議されました。

### 議案第 2 号 「工事請負契約の締結について」 (採決結果/可決)。私は賛成しました。

名称 / 印西市大森小学校管理教室棟改築工事  
契約の方法 / 指名競争入札 契約の金額 / ￥413,700,000  
契約の相手方 / 佐倉市表町3丁目12番地2 古谷建設株式会社 佐倉支店

#### (ぐんじとしのりより/解説)

この工事は昭和56年の新耐震設計基準の公布以前に建築された既存の建築物について、平成10年度より行われてきた、「耐震補強工事」の最後として行われるものです。この入札については、一度入札が成立したものの、対象業者の「入札金額誤記」という考えられないミス(この業者は「指名停止処分」を現在、受けております)による指名辞退をうけ、再度の入札が20社を対象に行われたものです。(尚、この議案を通して、私からの質問により、印西市には「競争入札参加審査申請」を行っている業者として297社が登録され、会社の規模によりランク分けが行われていることが明らかになっております。)

### 議案第 3 号 「平成 15 年度印西市水道事業会計補正予算」について (採決結果/可決)。全員一致

#### (ぐんじとしのりより/解説)

水道施設創設事業に対して記載が企業債の発行が行われておりますが、今回は昭和53年度に起債された1億2千万円(利率 年7.25%)のうち、未償還額3618万853円に対して1740万円の借り換えが県より認められたものです。(利率 年3%以内)

\* 今回、提案されていた 議案第 1 号「印西市一般会計補正予算(第 4 号)」に  
関しては、その内容であった「都市廃棄物空気輸送施設維持管理」に関して、  
執行部より議案の取り下げがあり、審議されませんでした。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回は8月上旬の発行を予定しております。  
(引き続き6月議会の報告を行うとともに、臨時議会の報告、その他を行ってまいります。)  
この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思っております。  
よろしく願い申し上げます。 ぐんじとしのり

いつのまにか？  
激動の日々を経て  
昭和天皇  
「神の国発言」(森前首相)